

最新版造園植物材料データファイルを無償配布

日本を地球温暖化問題を解決する先進国へ！！

二酸化炭素の吸収に有効な、E X C E L 対応の植物データベースを無料配布

このデータベースは、主に造園業で扱われている植物 598 種の特性が入力されています。

これらの特性は、樹高・気温・日照・水分条件など 29 項目が入力されています。

最新バージョンの追加点は、樹木群では、地球温暖化がもたらす気候変動で、最も生育が懸念される、沖縄・北海道種を新たに 26 種加え、特性項目では、ビオトープ・自然再生上便利な、「里山林」「保全林」「生産林」「混交林」「雑木林」、及び「誕生日の木」、草花類では、室内での「ハンギング」に、つる性植物では猛暑を緩和する「緑のカーテン」に適した植物特性が入力されています。

また、仏教の経典にあります、「人間は、呼吸を 7 分間、水は 7 日間、食物は  $7 \times 7 = 49$  日、取らないと死んでしまう。」とされています。

植物は空気（光合成（二酸化炭素を酸素に換える））も、水（水源涵養（緑のダム））も、食物（米や家畜の飼料）も提供してくれています。

また、森林を始め海水面・水田・湖・河川も上昇する気温を低下させてくれています。

日本は、開発が進みながらも未だ国土の約 70% が山地・農地・原野など植物環境に覆われており、先進国でも上位に位置しており、水も緑も豊かです。

建物や道路などはいくらでも造れますが、自然環境は造れません。

昨今、節電・省エネ・リサイクル等の二酸化炭素の排出を是正する、呼びかけは盛んに言われています。

同様に、澄んだ空気と豊かな水、そして鮮度のある食材に恵まれた自然環境を愛し、日本を二酸化炭素排出を是正する側でも、吸収する側でも、地球温暖化問題を解決する先進国となり、国民のみなさん一人ひとりが、笑顔になって欲しいものです。

ご希望の方は、e-mail : [npmwy569@ybb.ne.jp](mailto:npmwy569@ybb.ne.jp) にお問い合わせください。

野沢俊哉（48 歳）学習塾経営、都市計画（自然立地的土地利用計画）専攻、東京農業大学造園科学科（昭和 62 年卒）富山県下新川郡朝日町平柳 246

